



おかげさまで、ことぶき大学開校50周年記念式典を無事終えることができました。  
心より感謝申し上げます。

## 10月です。雪虫が飛んでま〜す！

10月に入りました。朝晩は暖房が欲しくなる季節を迎えました。麓郷では日中の寒暖差がとても大きく、朝の気温が5度前後でしょうか、紅葉も進むわけです。庭のヘンリーや白樺、山ぶどうの木々の葉がもう赤や黄色に色づいてきました。

下の写真は3日の早朝の写真です。たくさん雪虫が舞っていました。初めて雪虫を見たときから1週間以上たちますので、もしかすると今週末あたり麓郷では初雪になるのかもしれませんが。ふわふわで動きが遅くてかわいい雪虫、綿虫ともいうそうです。雪の訪れを教えてくれる虫……

季節は秋、芸術と文化、食欲の秋、シャンソンやジャズで“枯葉”でも聞きながらティータイム！一息つきましょうか。

さて、9月30日は3年ぶりの三市町芸能発表交流会でした。

皆さん、お疲れ様でした。コーラスも良かったですね。踊りもすごく迫力があってよかった、坂本さんの声は抜群の響きで本当に良かったです。ことぶき大学は最高です！！



## コロナに負けない健康講座

### 新型コロナウイルスの現状から健康管理まで

健康講座を開催します。講師に富良野市社会福祉協議会の柘竹さんをお招きしての講座です。新型コロナウイルスは確かに減少していることは間違いないと思っています。しかし、決してなくなったわけではありませんし、事実、富良野市での感染者も先週は37名の報告がありました。国も自治体も特別の制限を設けているわけではありませんし、旅行客も増えています。

「感染しても重症化しない？」「ワクチン接種をしているから？」「マスクをしているから？」「免疫ができています？」欧米ではマスクはもうしてないし、近所にもマスクは一度もかけたことがない！？という人も……総合的に考えると「もう心配ないんじゃないの？」と率直に感じてしまいがちですが……そのところを柘竹さんにアドバイスをいただきましょう。そして富良野版コロナに負けない健康講座をも同時に開催します。

**本日、10月5日(水)の予定**

**≧諸費納入日≧**

**朝の内に納入をしてください**

◎後期自治会費 3,000 円 (自治会会計へ)

◎年教材費 1,200 円 (事務局へ)

9 時 30 分 朝の集い 校歌 連絡

10 時 00 分～12 時 00 分 クラブ学習

図書館での学習環境づくりから始めましょう

12 時 00 分～13 時 00 分 昼食・休憩

◎12 時 40 分～13 時 00 分 自治会役員会

◎13 時 00 分～14 時 40 分 健康講座

「コロナ禍の現状と

コロナに負けない健康講座」

講師 社会福祉協議会 枡竹さん

◎臨時 14 時 45 分～ 15 時 15 分

ボイスタ説明会

**次回 19 日(水)スポーツ交流会  
に変更します**

予定していました合同運動会ですが、コロナ禍でもありますので密を極力避け、午前日程でスポーツ交流会を実施します。

種 目：①フロアーカーリング

②卓球 (ピンポン) ③その他

二校合同ですので、混合で楽しくゲームで交流をしたいと思います。

(種目・競技方法につきましては検討中)

**10 月 26 日(水)**

**秋の遠足(みなみふらの町)**

また、26 日 (水) は秋の遠足です。かなやま湖のログハウスのレストラン「ラーチ」でランチ、そしてポテトチップス工場見学です。自治会から 19 日の飲み物、26 日のランチなどの経費もありますので、別紙にて参加者の確認をとります。

## 四季の歌の手話・ことぶきソーランの舞・スコップの響き



9 月 30 日 (金曜日) 久しぶりに三市町芸能発表交流会が上富良野町で開催されました。

開校 50 周年記念式典から日数が経過していますので、VTRを何回も見ながら練習もしました。

コーラス、踊りはことぶき大学では、新しい取り組みです。

これからもことぶき大学の特色として頑張って取り組んでいきましょう。銀嶺大学での「四季のうた」を聞きながら、しっかりと手話をしている皆さんの姿に感動、よさこいソーラン！これぞことぶき大学のパワーです。

皆さんすばらしいです！！



恒例になった「ことぶきスコープ三味線」、何事も満足したらその時点で進歩がストップです。

あくまでの理想を追求しましょう。まずは何とか「まつり」を完成させましょう！！

技術や質が向上するごとに、新たな課題が生まれるものです。そうしているうちにレベルは必然的に上がっていくものです。時間をつくりまた練習再開です！！



## ティータイムコーナー！ 皆さんの寄稿を募集中！

下の記事は道新の朝刊からの切り抜きです。ご存じ、作家の佐藤愛子さんです。

著書「90歳。何がめでたい」、「98歳戦いやまず日は暮れず」「ああ面白かったといって死にたい」……大正12年（1923年）11月5日の生まれの佐藤愛子さん、現在98歳です。

**「幸福とは何ぞや」この秋、99歳。すべて成るようにしか成らん。不愉快なことや怒髪天をつくようなことがあってこそ、人生は面白い。生きるとは、老いるとは、死とは、幸福とは……。**読めば力が湧く、愛子センセイ珠玉のメッセージ。いかがですか。

佐藤愛子さんの笑顔が素敵です。和服姿で上品で、そして笑顔がかわいい…

私が最初に読んだ本は、「ソクラテスの妻」だったと記憶しています。若き日の佐藤愛子さん自身がモデルです。家族とは夫とは何かということと、ソクラテスと妻のクサンシッペと比喻してます。

秋の夜長に「幸福とは何か」を考えるのはちょっと重すぎるでしょうか……



## 寄稿

晩夏の思い出

「白いバラ  
女王様に  
手向けよう！」

2022年9月8日

「夏嵐

ご神木をも  
倒しける」

2022年8月23日

「さようなら

文化会館  
されど我が  
ことぶき大は  
永遠なりき！」

2022年8月31日

8月末から9月初めにかけて印象に残った出来事を俳句と短歌に記してみました。

文章にすると饒舌になってしまうのでは?? 私にとっては忘れ得ぬ日々でした。

ことぶき大学富良野校本科4年 大島昭代

大島さん、ありがとうございました。

皆さんからの寄稿を待っています。

